

## ○横浜薬科大学 出雲信夫教授による講演会の様子と生徒の感想



出雲教授による講演の様子

論文を書く際に大切なポイントを、  
研究内容に触れながらご説明いただきました。

### ☆生徒から横浜薬科大学の方へのお礼と感想

#### 1年 H.Aさん

今日の講演では、出雲教授が取り組まれている研究内容を熱く語っている姿を拝見し、自分のやりたいことを追求して極めていくことの凄さを感じました。私はまだ自分のやりたいことを見つけられていないので、出雲教授のように研究に没頭できるのは本当に素敵だと思いました。私も、「興味あることに挑戦し続ける人生」を送りたいと思います。また、「オリジナリティ」というのが今回のテーマでしたが、私も普段から自分の「個性」を大事にするようにしています。

小学校の担任の先生は、「型」に忠実であることを求める方でした。ある時、クラス全員の絵を修正して、みんな同じような絵に描き換えられた経験があります。私は、なんだかみんなの「個性」が消されたようで悲しくなりました。この経験から、「個性」の大切さを知りました。志望理由書を書くときも「個性」を大切に、オリジナリティのあるものを書きたいです。

#### 1年 Y.Tさん

横浜薬科大学の出雲教授に「オリジナリティのある文章の書き方」を講演していただきました。

まず、論文でも志望理由書でも、自分の主張がとても大切だと伺いました。つまり自分がそう考えた根拠や、人を納得させるための証拠を述べるのが大切だそうです。しかし、調べたことを「ただ書くだけ」ではオリジナリティが無いので自分自身の文章にはなっていません。調査の結果やデータを「自分の言葉」で噛み砕き、論理的に書くことが必要だそうです。そのためには、普段の生活から物事を様々な視点から考え、しっかり自分の意見を持つことが大切だと伺いました。

後半は、国語科の先生から「志望理由書」についてのお話がありました。2つの「志望理由書」を読んで、入試方法によって書き方を变えた方が良いということを初めて知りました。また、自分だけのオリジナルな経験がとても大切だと分かりました。どのような文章を書くにしても、まずは自分の主張とオリジナリティが重要だということが分かりました。

私は、今回の講座を受講する事前準備としてあらかじめ「志望理由書」を書いてみました。文字数が制限された中で、自分の主張や根拠をしっかりとした文章でより濃く伝えることの大変さを痛感しました。先生から「計画性を持って行動しましょう」と言われることがありますが、その意味がよく分かりました。



(左) 講演のテーマは、「オリジナリティ」でした。

(右) 出雲教授の講演の後、国語科教員より、志望理由書についてのお話がありました。

### 1年 O.Aさん

今回はお忙しい中、文章の書き方について説明して頂き有難うございました。

一番大切なのはオリジナリティで、勉強した知識や調べたデータだけを並べるとオリジナリティがなくなってしまうということが分かりました。高校生活でも多くのことを経験し、たくさん勉強して、世界にはまだ無い、今後あったら良いと思えるような治療薬や療法等を今から考えることが大切だそうです。抗ヒスタミン薬として開発されたクロルプロマジンが統合失調症の薬として使用されるようになり、似たような構造のイミプラミンを開発したが、統合失調症ではなくうつ病に効果があったという話を伺いました。このことから、広い視野で物事を捉え、考えることが大切なのだと思います。

私は将来薬剤師になりたいので、志望理由書を書いたり大学受験の面接をしたりする際には、自分にできる社会貢献を考え伝えたいと思います。そのためには、1年生のうちからたくさん本を読み、たくさん勉強して経験を積み、今の世の中の現状を理解したいと思います。普段聞けない話を伺えて大変勉強になりました。

### 1年 K.Hさん

高校受験に向けて志望理由書を書いた時、書き方が分からず苦戦しました。相手を魅了できるほど、工夫してかけなかったことを覚えています。当時はダメだった理由が分かりませんでした。今日の講演を聞いて、自分には工夫して物事を考えるという力と、相手に自分を知ってもらうための情報が足りていなかったのだと気づきました。今日得た知識をもとに、どう表現すれば相手に熱意を伝えられたり、面白いと感じてもらえたりするのかを考え、自分自身をアピールできるような志望理由書を書きたいと思いました。